

授業科目名	On Global Justice (グローバルな正義論)
科目 No.	18
授業の実施場所	宇都宮大学 峰キャンパス (4B12 教室)
使用言語	英語・日本語
単位数	1
開講時期	9月1日(木)～2日(金) (4コマ×2日)
授業形態	講義
受講者数	最小5人～制限なし
担当教員	宇都宮共和大学シティライフ学部 専任講師 吉良貴之
開設大学	宇都宮共和大学

【授業の内容】

法哲学・政治哲学で議論されている「グローバル正義論 (Global Justice)」の基本的な論点について扱います。グローバルな規模で人の移動が進む現在、国境を超えた「正義」は果たして可能でしょうか。この授業では様々な具体的トピックをもとに考え、自分なりの見解を英語でまとめ、海外に発信できるようになることを目標とします。授業ではできるだけ英語を用いますが、参加者のレベルに応じて日本語も用います。

【扱うトピックの例 (受講者の要望に応じます)】

- 移民の正義： 先進国が途上国から医療従事者や介護労働者を「引き抜く」ことは正義にかなっているといえるだろうか？
- 難民の正義： 難民受け入れは先進国にとってなぜ／どこまで義務といえるだろうか？
- 国境を超える労働問題： 安価な服を着る私たち先進国民は途上国の劣悪な労働状況に何らかの責任があるといえるだろうか？
- 戦争の正義： 国際テロ組織との「正しい戦争」はありうるだろうか？
- グローバル人権論： 国家単位での人権保障に限界はあるだろうか。あるとすれば、どのようなグローバル人権保障システムが考えられるだろうか？

【教科書・参考書・教材等】

必要な資料などは、適宜配布します。この分野の前提知識は特に求めません。

【成績評価】

授業中の課題やレポートによって評価します。

【学修上の助言】

国際社会のなかでの「法」「正義」の可能性を一緒に考えましょう。